

令和5年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラスキッズ中野ルーム

集計日：令和5年12月26日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		指導訓練室は、29.7mあり、施設基準の一人当たり2.47mを満たしております。また定員に応じたパーティション配置の変更、保護者席のモニター設置を行い、安全に配慮しながら多くの方にご利用いただけるような環境設定を行っております。	限られたスペースで十分な支援が行えるよう、低年齢のお子さまに合わせた部屋割り設定を行っています。また、保護者の方からお子さまが見えやすいよう座席配置を工夫しております。
②職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		スタッフの充足に加え、その専門性を高められるように教育体制強化を計画的に行っております。	行政によって定められた人員を必置しております。お子さまの特性に応じ、出勤体制の作成、加配体制を敷いております。
③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		フラットな床、視覚情報の少ない空間になっており、実際に車いす利用のお子さまも受け入れております。	成長・発育に応じて手洗い・トイレの自立に繋がるよう、高さが調整できる台などの環境設定も行っております。
④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		支援計画の作成、更新時にはケース会議を開催し、スタッフそれぞれの視点から目標設定について意見をもらおうよう努めております。多くの職員が参加できるよう会議日を調整しております。	教室会議の際に運営体制について広く意見を募れるよう、事前の議題募集を行います。また、より多くの支援担当職員が直接モニタリング（面談）に関与できるよう、教育体制の充実を図ります。
⑤保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		SMS（ショートメッセージサービス）配信や職員によるお声がけを行い、一人でも多くの保護者の方の声を拾うため、アンケート回答率の強化に努めております。	今年度より、定期アンケートと保護者等向け評価表を同時期に行うことで回収率向上を図る取り組みを行っております。
⑥事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		ホームページ上に公開し、広報による周知のほか、一定期間保護者の方が目の届く場所に掲示しております。	教室内で、自己評価及び保護者の方向け評価表の結果についてフィードバックをしております。また、毎年2月にホームページに公表しております。
⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		令和元年度と令和四年度、第三者評価を受審しております。	受審結果について保護者の方にも周知し、よりよいサービスの向上の資料として使用してまいります。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		今年度自治体主催の勉強会や事業所内・法人内勉強会に参加し、支援の質の向上に努めております。	持ち回り勉強会や、資格取得のための取り組みを一層進めてまいります。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		毎月ケース会議を開催し、レッスン後に保護者からのご意見なども取り入れながら教室スタッフ全員の視点を共有しております。	継続アセスメントを行えるよう明確な期間を設定できるように努めてまいります。
⑩子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		独自のアセスメントシートを利用し、ケース会議の際には個別支援計画の内容に基づく振り返りを実施しております。また、社内独自の研修を受けております。	昨年度に続き定期的なアセスメントが実施できていないため、標準化されたツールを使用し定期的なアセスメントができるよう検討してまいります。
⑪児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		就学相談や家庭での過ごし方、保育園・幼稚園との訪問連携など、保護者の方の困りごとや相談ごとへの支援も行っております。	3項目の明示は行っていないですが、個別支援計画の備考欄に家族支援としての事業所内相談支援、地域支援としての家庭連携加算について明記しております。また、個別・集団の利用形態に応じた目標設定を行っております。

⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		その日の状態・利用形態によっては、すべての短期目標に関する支援が行えない場合もあるため、職員間の共通理解を深めつつ、保護者の方への説明が行えるようにしてまいります。
⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	個別支援計画に基づく支援内容の作成・記録を行っております。	複数の職員との関係性が構築できるよう、必要に応じて複数人に担当を限定して支援を行っております。
⑭ 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○	集団レッスンに関しては、年間計画に沿った支援、個別レッスンについては適宜スタッフ間で共有する時間を設けております。	お子さまの興味関心や保護者の方のご希望にも合わせて、毎回の支援を考案しております。
⑮ 子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	3か月から6か月に1度支援計画の見直しを行い、支援の内容についてもケース会議で精査しております。それぞれのアセスメントや課題をもとに、集団・個別レッスンを必要に応じて織り交ぜながら活動に参加できるように努めております。	引き続き、集団レッスンの際にも個別支援計画に基づく支援共有を各職員に行っております。

⑯支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		集団レッスン前に授業共有時間を設けています。個別レッスンであっても内容の共有は可能な限り行っております。	朝礼時に利用者共有を行っております。
⑰支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		レッスン終了後その都度、支援日誌に記録しています。また、支援した内容やエピソードは職員同士で共有を行っております。	集団レッスンについては、翌週担当者に口頭・記録等での引継ぎを実施しております。
⑱日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		社内システム等を活用し、適切に記録、評価を実践しております。	支援日誌に詳細を記入し、前回の担当者が記録に基づく修正・考案ができるよう徹底しております。
⑲定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		3か月から6か月に一度の支援計画の見直し前にケース会議を開催し、支援についての評価を行っております。	3か月から6か月に一度の支援計画の見直し前にケース会議を開催し、支援についての評価を必ず行っております。
⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>		どのスタッフでも参加ができるような環境を整えられるようにしております。必要に応じて勘案調査の同席ができる体制を取っております。	相談支援事業所へ、短信や支援計画を共有しております。また、相談支援専門員の方との対面でのモニタリングも実施しております。
㉑母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>		関係機関との連携・情報共有を適宜行っております。必要に応じて、保護者の方にもご了承いただいたうえで内容を共有しております。	区立の児童発達支援センターや基幹センター、福祉センター、相談支援事業運営法人などと情報の共有をしております。
㉒医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>		今年度受け入れ実績があります。また、相談支援事業所の方に実際のレッスンをご見学いただくなどの連携を行っております。	地域のニーズに応じた受け入れ体制を維持できるよう、職員の専門性向上に努めてまいります。
㉓医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	<input type="radio"/>		連絡・共有などの実績がありませんが、必要に応じて対応できるような体制となっております。	今後、医療機関・他事業所との情報共有を深めてまいります。
㉔保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		保護者の方からの要望に合わせ、幼稚園、保育園、こども園への訪問や課題の共有を適宜行っております。	就学先決定時期において、保護者の方に対する助言方法について、関係機関との連携が強化できるように努めてまいります。
㉕小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>		必要に応じて、就学支援資料の作成や就学支援シートなどの記入などに取り組んでおります。また、近隣の特別支援学校説明会に参加し、就学先に関する理解を深める機会を設けております。	切れ目のない移行期の支援ができるよう、相談支援事業所・放課後等デイサービス事業所等との情報共有を進めてまいります。
㉖他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	<input type="radio"/>		必要に応じて、お子さまが利用している他事業所等と連絡調整を行っております。また、支援に関する関係機関連携会議等も実施しております。	事業所としての連携回数が少なく、外部訪問担当職員が限られているため、複数人での営業活動・連携体制が取れるよう体制を充実してまいります。
㉗保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事業所として交流会等は行っておりませんが、通園先との情報共有や、事業所への通所が通園の妨げにならないような利用形態の相談などを行っております。	当事業所を利用されているお子さまは、多くが幼稚園等へ通園しているため事業所としての交流の機会は設けておりません。
㉘（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	今年度は機会が無く、参加することができておりません。お子さま・ご家庭の状況に応じて参加したいと考えております。	児童発達支援においては、協議会の連絡会等の開催は実施されていないため、機会に応じて参加できるようにしてまいります。
㉙日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>		利用後のフィードバックの時間を大事にしております。それ以外でも、適宜保護者の方とお子さまの様子を共有するよう努めております。	集団レッスン後は一斉フィードバックとなること課題であるため、必要に応じて個別にお話しする時間を設けております。フィードバックや定期・不定期面談、園連携の振り返りなどでお子さまに関する悩み・成長の共有などを行い、レッスンの内容に組み込んでおります。

⑩保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		自宅での過ごし方などへのアドバイスや、レスパイト的な受け入れは実施しておりますが、体系的なプログラムは実施できておりません。	保護者の方とお子さまとのかわり方についてより実践可能な形で支援できるよう、親子レッスンやイベントなどの機会を適宜設けてまいります。
⑪運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時、また内容変更時に適宜説明しております。運営規程は保護者席に掲載しております。	契約時に詳細の説明をおこなうとともに、教室内いつでも閲覧できるようにしております。
⑫児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		契約時、更新時に支援計画についての説明を必ず行い、希望があれば内容の修正をいただいています。	作成時には必ず保護者面談による説明・同意を行っております。
⑬保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的に、保護者の方からの相談について共有をし、適宜幼稚園、保育園への訪問を実施しております。	他事業所での保育所等訪問との情報共有や、園訪問後の変化の確認などを行ってまいります。
⑭父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		就学に向けた、保護者懇談会や年中保護者を対象にした懇談会を実施しております。また、保護者の方同伴のイベントも実施しております。	今年度オンラインで行った保護者勉強会を、来年度は対面で実施するなどの改善を行ってまいります。
⑮子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		感染症や、苦情・虐待対策として必要な体制を整備するとともに、契約時や事業所内の掲示などでアナウンスしております。	年度替わり時、契約業務共有時など、必要に応じて職員間での理解を深めてまいります。
⑯定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ハッピー通信を刊行しホームページに掲載しております。また、イベントブログなどのSNS活用も行い、すぐにご覧いただけるよう保護者席にQRコードを掲示しております。	昨年同様、子ども向け会報や利用ガイドが準備できていないため、来年度の実施に向けて準備をしております。
⑰個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報、全て同じ書庫に鍵をかけ保管しております。また、データの保存などについてもサーバー管理の徹底を心掛けております。	外部の方が来られたときの個人情報の取り扱いについて、新人研修や教室会議等で今年度共有してまいります。
⑱障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		マカトンサイン・視覚支援などを使いながら、伝わりやすい方法で意思の疎通を図るようしております。ご家庭でも取り入れられる内容については、保護者の方に共有を行っております。	ニーズに応じてメール・メッセージアプリなどを活用しつつ、スマートフォンの操作が苦手な保護者の方に対しては電話や紙でのやりとりを行うなど柔軟に対応してまいります。
⑲事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の町内会に所属はしております。行事等は昨年同様開催できておりません。	地域での勉強会や説明会など、個人情報や地域のニーズを把握したうえで具体的な方法を検討してまいります。
⑳緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルはありますが、保護者の方への周知はできておりません。	現在行っている訓練が地震対応のみのため、火災・防犯などの訓練も実施できるようにいたします。また、マニュアルを教室内に掲示し、保護者の方に周知できるようにいたします。
㉑非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		レッスンに盛り込んだ形で避難訓練を実施しております。また、職員向けの災害時避難訓練を今年度中に実施予定です。	保護者の方も含めた避難・救出等訓練の実施に向けて取り組んでまいります。
㉒事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		緊急連絡票に記載、体験の時点で確認し、基幹システムにも入力するよう徹底しております。	ケース会議などの機会に、お子さまの詳細な医療・発達情報を共有できるよう、アセスメントツールと合わせて機会設定をしております。
㉓食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		重篤なアレルギーをお持ちとの報告をいただいております。現在医師からの指示書はご提出いただいております。	今年度事例はありませんが、飲食を伴うイベントの際には、緊急連絡票記載情報の確認や保護者の方への事前相談を行うなどの対策を行います。

④④ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	年度末に一年間のヒヤリハットについて教室会議で検討を行っております。	月1件以上を目標にヒヤリハット・アクシデント報告を行ったほか、事例発生時に全職員向けにメールで事案共有を行い、再発防止に努めております。
④⑤虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	定期的に法人内・事業所内研修等を実施して、所感を残しております。	虐待疑い案件や教室内勉強会などの機会に応じて、全職員が共通理解を深められるよう情報共有を行ってまいります。
④⑥どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束の方法や頻度についても保護者の方に相談し、保護者の方に対し十分な理解を得られるよう努めております。また、記録作成・支援前後の共有により、身体拘束解消に向けた支援を進めております。	実際に今年度身体拘束対象のお子さまについて、社内委員会調同席のもと会議を行い、身体拘束の必要性や解消に向けた具体的な方策について会議を実施しております。